

令和6年 11 月 28 日

令和6年度 学校評価アンケート考察【前期】

平戸市立大島小学校

	項目	児童	保護者		教職員	平均
			家庭・地域の様子	学校での様子		
1	学習の理解（わかりやすい授業）	3. 6	3. 2	3. 5	3. 7	3. 5
2	体験や活動、学びの実感	4. 0		3. 7	3. 4	3. 7
3	月 10 冊以上の読書	2. 4	3. 0		3. 3	2. 9
4	家庭学習・宿題	3. 4	3. 0		3. 3	3. 2
5	表現力の育成	3. 2		3. 6	3. 6	3. 5
6	学校が楽しい	3. 6	3. 8	3. 6	3. 9	3. 7
7	満点挨拶	2. 6	3. 4		3. 7	3. 2
8	早寝・早起き・朝ごはん	3. 0	3. 1		3. 0	3. 0
9	メディアコントロールの意識	2. 2	2. 4		3. 4	2. 7
10	時間やルール、マナー	3. 0	3. 1		3. 6	3. 2
11	整理・整頓	2. 8	2. 6		3. 3	2. 9
12	教職員への信頼（相談しやすい）	3. 4		3. 6	3. 6	3. 5
13	食事のマナー、感謝	3. 4	3. 0		3. 7	3. 4
14	健康・安全	3. 4	3. 2	3. 6	3. 4	3. 4
15	体力の育成	3. 2		3. 7	3. 3	3. 4
16	道徳性（思いやり等）	3. 4	3. 1	3. 5	3. 4	3. 4
17	目標に向けて努力 特別支援教育	3. 0	2. 9	3. 4	2. 9	3. 0
18	郷土愛	3. 2	3. 4		3. 6	3. 4
19	環境美化	3. 6		3. 7	3. 1	3. 5
20	ボランティア活動	3. 4		3. 5	3. 1	3. 3
21	家庭・地域との連携	3. 4	3. 3	3. 4	3. 6	3. 4

【考察】

- 学校教育の根幹である学習に対する評価は、学習内容の理解については児童3.6、教職員が3.7と高い。保護者の評価は、児童の学習の理解については3.2とやや低いが、わかりやすい授業に対する評価は3.5となっており、授業自体に対しては好意的であると考えられる。
- 本校は体験活動を通じた学習が多く、体験や活動の充実については児童4.0、保護者3.7、教職員3.4である。児童の4.0は全員が「4」を選択したことになる。各活動を児童が楽しく取り組んでいることが伺える。
- 「学校が楽しい」の評価も、児童3.6、保護者3.8、教職員3.9と高い評価である。
- 「満点挨拶」については、教職員の評価は3.7と高いものの、児童自身の評価は2.6と低い。学校で取り組んでいる「挨拶名人」になれていない児童は、児童自身は自分の挨拶をまだ不十分と捉えているのかもしれない。また、教職員は学校での姿しか見ていないが、地域では声が小さかったり挨拶ができていなかったりしているとの声もあり、児童自身の評価が低いのはそうした普段の姿の反映とも考えられる。
- メディアコントロールについては、教職員は3.4だが、児童2.2、保護者2.4と低い。教職員はメディアへの指導や啓発を行っていると考えているものの、児童、保護者はそう感じていない（あるいは身に付いていない）ことがわかる。ただし、児童への設問が「ゲームやテレビの時間は1日2時間以内を守っている」となっているが、1学期末の役員会で「ゲームやテレビの時間は学年に応じて各家庭で決める」となったため、設問と食い違いが生じている。年度末の評価では改善しておきたい。
- 「整理・整頓」については、教職員の3.3に対して、児童2.8、保護者2.6となっている。教職員が「身の回りの整理・整頓ができています」と判断するのは教室内のことであり、児童・保護者が判断しているのは家庭内のことであることが考えられる。教師が見える範囲のみならず、家庭内も含めて普段から整理・整頓をしようとする態度を身につけさせたい。

主だったものを挙げましたが、今回の学校評価を踏まえて今年度後半の指導に生かしていきます。本校の教育へのご理解・ご協力を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。